令和７年度シラバス　　（　　現代の国語　　）

教科	国語	単位数	2	学科・学年・組	工業技術科　１年　Ａ・Ｂ　組
使用教科書	新編　現代の国語　（大修館）				
副 教 材 等	論理エンジン「論理の習得」OS1　（水王舎）				

1　学習の到達目標

国語を的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。それとともに、思考力を伸ばして心情を豊かにし、社会に出てからも一人の自立した社会人として生きていける力を養う。

2　科目の特色

・一般常識やビジネスマナーなど、社会に出る前に知っておかなければならないことを身に付ける。

・発表や、作文などアウトプットの機会を多く設け、自分の思いや気持ちをしっかりと他者に伝えられるようになる。

3　学習の計画

	学 習 内 容	主な学習活動
一学期	・『「変わる」ことを楽しもう』 ・『伝わるように話そう』 ・『人間はゴリラとチンパンジーのどちらに近いか』 ・『ミニインタビューをしよう』	・高校生活をどのように送っていきたいか考え、そのために必要なことも考える。 ・授業に積極的に参加し、その都度内容を理解し、話す聞く、書く、読むなど言語活動を活発に行いながら、社会に出た後も自立した人間として生きていける人材となることを目指す。
二学期	・『水の東西』 ・『対話のレッスン』 ・『意見文の基礎を学ぼう』 ・『情報の力関係』	・コミュニケーションに必要な言葉以外の要素について知り、実生活でも活用できるようにする。 ・授業に積極的に参加し、その都度内容を理解し、話す、聞く、書く、読むなど言語活動を活発に行いながら、社会に出た後も自立した人間として生きていける人材となることを目指す。
三学期	・『魅力的な企画書を書こう』 ・『何のために「働く」のか』	・他者のことを考えた表現方法や、他者とかかわりの中で大切なことについて理解する。 ・授業に積極的に参加し、その都度内容を理解し、話す、聞く、書く、読むなど言語活動を活発に行いながら、社会に出た後も自立した人間として生きていける人材となることを目指す。

4　課題、提出物等

・授業プリントを活用し、知識の補完をする。
・ノート・補助教材等を定期的に回収する。
・作文等の課題を課す。

5　評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎的な漢字力、語彙力を身につけると同時に、読解力、表現力を身につけること。定期テスト、小テスト、課題、ノートなど授業の諸活動の中で上記の力が身についていることがわかること。	話す、聞く、書く、読む力を伸ばすこと。授業内での個人的な活動、グループ学習など総合的な言語活動を通して上記の力がのびていることがわかること。	教材の内容理解に加え、教材からのメッセージを感動を持って受け止め、自分の生活に結びつけるとともに、クラスメートと積極的に交流できること。書いたり話したりする事を習慣化し、仲間と交流することによって考えを深めることができること。

令和７年度シラバス（公共）

教科	公民	単位数	２	学科・学年・組	工業技術科　１年 Ａ・Ｂ 組
使用教科書	公共（実教出版）				
副教材等	（なし）				

１ 学習の到達目標

人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

２ 科目の特色

・わたしたちが生活する社会のしくみについて、主体的に考えながら理解するために、授業の内容に関連する身の回りの様々な事例を引き合いに出しながら考える時間を重視する。
・自分で考察したことを効果的に表現できるような機会を重視する。

３ 学習の計画

	学 習 内 容	主な学習活動
一学期	・日本国憲法を理解する。 ・現代の諸問題を考察する。 ・宗教と哲学の違いを理解した上で世界三大宗教と幾人かの哲学者を考察する。	・授業に出席し、かつ積極的に参加し、その都度内容を理解し、自身の知識を増やし深め、自分で様々な事象を考察する力を高め、以て近代市民としての役割を果たせる人材となることを目指す。
二学期	・政情の諸問題を理解し、考察する力を高める。 ・経済上の諸問題を理解し、考察する力を高める。	・授業に出席し、かつ積極的に参加し、その都度内容を理解し、自身の知識を増やし深め、自分で様々な事象を考察する力を高め、以て近代市民としての役割を果たせる人材となることを目指す。
三学期	・国際上の諸問題を理解し、考察する力を高める。	・授業に出席し、かつ積極的に参加し、その都度内容を理解し、自身の知識を増やし深め、自分で様々な事象を考察する力を高め、以て近代市民としての役割を果たせる人材となることを目指す。

４ 課題、提出物等

・定期考査時に毎回授業ノートを提出する。

５ 評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・現代の諸課題を解決するための選択・判断の手掛かりとなる概念や理念を理解するとともに諸資料から必要となる情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。	・現代社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力を身につけ、社会参画を視野に入れながら構想したことを議論できる。	・公共的な空間に生き国民主権を担う公民として自覚を持ち、現代の諸課題について主体的に解決する態度が身についている。

シラバス　　（　数　学　Ⅰ　）

教　科	数学	単位数	2	学科・学年	工業技術科　１年A・B組
使用教科書	新高校の数学Ⅰ　（数研出版）				
副 教 材 等	パラレルノート数学Ⅰ				

1　学習の到達目標

高等学校では多くの公式・定理等を学びます。それらの意義を理解し、また応用できるよう学習し、専門科の実験・実習等の数的処理の基礎を定着させます。

2　科目の特色

基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

3　学習の計画

	学 習 内 容	主な学習活動
一学期	数と式	数を実数まで拡張する意義を理解できるようにする。また，専門科の技術計算が円滑にできるようにする。
二学期	数と式 図形と計量	式を多面的にみたり処理したりするとともに，一次不等式を事象の考察に活用できるようにする。 三角比の意味やその基本的な性質について理解し，三角比を用いた計量の考えの有用性を認識する。
三学期	図形と計量	三角比を用いた様々な事象の考察に活用できるようにする。特に製図、測量、設計等との関わりを学ぶ。

4　課題、提出物等

・毎授業ごとに授業プリントを提出します。
・定期テスト毎に問題集を提出します。

5　評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数と式，図形と計量についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

以上について総合的に評価します。

令和７年度シラバス　　（　　科学と人間生活　　）

教　　科	理科	単位数	２	学科・学年・組	工業技術科　１年Ａ･Ｂ組
使用教科書	実教出版　科学と人間生活				

1　学習の到達目標

・科学と人間生活との関わりや科学技術が人間生活に果たしてきた役割について理解する。
・観察・実験などを通して、科学に対する興味関心を高めるとともに、科学的な見方や考え方を養う。

2　科目の特色

実験や観察などの体験を通して、科学のおもしろさを実感することができる授業である。

3　学習の計画

	学 習 内 容	主な学習活動
一学期	１章 科学と技術の発展 ２章 物質の科学	・科学の歴史と技術の発展との関わりを理解する。 ・海中の生態系と自然界における土壌の役割と科学技術の活用について考察する。 ・身の回りの物質について理解する。 ・金属の性質や製法などについて学習する。 ・プラスチックとセラミックスの性質・特徴について学習させ、リサイクルなど資源の有効利用の必要性を理解する。 ・三大栄養素に加え、ビタミンやミネラルについて学習する。 ・衣類に用いられている繊維について理解する。
二学期	３章 生命の科学 ４章 光や熱の科学	・ヒトの眼の構造について学習する。 ・ヒトの生体防御の仕組みや、遺伝子の発現についてＤＮＡの模型を作成して理解する。 ・地球に存在する微生物の種類と、発酵を例に微生物の利用について考察し、微生物が人間の生活に深く関わっていることを理解する。 ・生態系での物質循環に、微生物がどう関わっているかを学習する。 ・熱の移動形態に種類があることを、体験から理解する。 ・光の直進性や反射・屈折などの性質について観察を通して理解し、幾何学的な考え方を身につける。
三学期	５章 宇宙や地球の科学 ６章 これからの科学と人間生活	・太陽系を構成する惑星の特徴を学習し、地球と他の惑星との違いを理解する。 ・地球の特徴から、生命の存在できるための条件を考察する。 ・身近な自然景観が風化、侵食、運搬、体積などにより、長い時間をかけて変化してきたことを理解する。 ・地球内部の構造やプレートの動きについて学習し、大陸のでき方や地震・火山のメカニズムを理解する。 ・科学技術の成果と今後の課題について考察し、科学技術と人間生活との関わりについて探究する。

4　課題、提出物等

・ノートをしっかり整理して、授業のポイントを理解し、定期的に提出する。
・指示された課題は期限内に提出する。

5　評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然と人間生活との関わり、および科学技術と人間生活との関わりについて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身につけている。	人間生活と関連のある自然の事物や現象から問題を見出し、見通しをもって実験・観察・調査などを行うとともに、ものごとを実証的・論理的に考察し、それを表現することができる。	自然の原理・法則や科学技術の発展と人間生活との関わりについて、社会が発展するための基盤となる科学に対する興味・関心を高めている。

令和7年度　　シラバス　　**体育**

教　　科	保健体育	単位数	2	学科・学年・組	工業技術科　1　年　　A・B　組
使用教科書	新高等保健体育（大修館書店）				
副教材等	新高等保健体育ノート				

1　学習の到達目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

2　科目の特徴

・運動の楽しさや喜びを深く味わい自ら進んで運動できるようにするために、体を動かすことの楽しさや必要性、各種の運動の特性などについて解説する。
・自己の能力や運動の特性に応じた課題を見つけ、解決していくことができるように、各種目におけるスキルテスト表などを作成し課題解決にむけた練習方法を例示する。また、口頭質問による実態の把握に努める。
・生涯を通じて継続的な運動ができるように、身体活動の意義や、運動の特性、各種目のルール及び審判法などについて触れる。特に審判法についてはできるだけ全員が経験できるよう配慮する。

3　学習計画

月	学習内容	主な学習活動（指導内容）
4	体つくり運動	○オリエンテーション ○体ほぐしの運動 ○体力を高める運動
5	陸上競技	○走、投、跳 ・基本技能習得
6	体育理論	○スポーツの発祥と成立　○スポーツ文化の発展と現代社会
6 7 9	【選択】卓球・バドミントン	○個人技能の基本 ・ルール理解　・基本ストローク練習 ・フットワークの基本 ○シングルスゲーム ・各種ストロークを使う ・フットワークの工夫 ○ダブルスゲーム ・ルール理解　・簡易ゲーム ○スキルテスト ○球技大会
10	体育理論	○オリンピック・パラリンピックと国際社会　○スポーツの経済効果とスポーツ産業
10 11 12	バスケットボール	○個人技能の基本 ・パス、ドリブル、シュートの基本練習 ○集団技能の基本 ・ルールとフォーメーションの理解 ・練習ゲームにおける実践 ○ゲーム中心 ・速攻を取り入れた攻防 ・ディフェンスの工夫 ○スキルテスト
12	体育理論	○スポーツに求められる高潔さ
1 2	陸上競技 （長距離走）	○ウォーキング（3．6km） ○ペース走 ○時間走＜30分間＞ ○タイム測定（男子4．5km、女子3．6km）
2 3	体育理論	○持続可能性からみたスポーツと環境 まとめ

4　課題、提出物

・各種目のスキルテスト　・長距離走の完走　　・学習プリント、ノート

5　評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。 自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うと共に、運動の技能を高めている。	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。 また、自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方ができる。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで計画的に運動しようとする。 また、公正、協力、責任などの態度を身に付けると共に、健康・安全に留意して運動しようとしている。

令和7年度　　シラバス　　**保健**

教　　科	保健体育	単位数	1	学科・学年・組	工業技術科　1　年　　A　・　B　組
使用教科書	新高等保健体育（大修館書店）				
副教材等	新高等保健体育ノート（大修館書店）				

1　学習の到達目標

保健の見方・考え方を働かせ，合理的，計画的な解決に向けた学習過程を通して，生涯を通じて自らの健康や環境を適切に管理し，改善していくための資質・能力を育てる。

2　科目の特徴

(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに，技能を身に付けるようにする。
(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

3　学習計画

月	単元名	学習内容	主な学習活動（指導内容）
4 5 6 7	現代社会と健康	保健の授業について ①日本における健康課題の変遷 ②健康の考え方と成り立ち ③ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり ④健康に関する意志決定・行動選択 ⑤現代における感染症の問題 ⑥感染症の予防 ⑦性感染症・エイズとその予防 ⑧生活習慣病の予防と回復 ☆ノートまとめ ※1学期期末考査 ※1学期期末考査の復習	保健学習の意味と学習の見通し ●健康指標や疾患構造の変化から、日本の健康課題を理解する。 ●健康の考え方がどのように変化してきたのか理解する。 ●ヘルスプロモーションの考え方に基づく環境づくりの重要性を理解する。 ●健康を保持・増進するには適切な意志決定・行動選択が重要であることを理解する。 ●感染症の発生や流行には自然や社会の環境が影響することについて理解する。 ●感染症予防の三原則について理解する。 ●性感染症・エイズの現状と今後の課題について理解する。 ・授業評価を実施する。 1学期末考査の復習
9 10 11	現代社会と健康	⑨身体活動・運動と健康 ⑩食事と健康 ⑪休養・睡眠と健康 ⑫がんの予防と回復 ⑬喫煙と健康 ⑭飲酒と健康 ⑮薬物乱用と健康 ⑯精神疾患の特徴 ⑰精神疾患への対応 ☆ノートまとめ ※2学期期末考査 ☆2学期期末考査の復習	●生活習慣病のリスクを軽減し予防するために必要な個人の取り組みについて理解する。 ●身体活動・運動と健康の関係について理解する。 ●食事と健康の関係について理解する。 ●休養・睡眠と健康の関係について理解する。 ●がんには様々な種類があることやがんの発生要因について理解する。 ●喫煙による健康への影響について理解する。 ●飲酒による健康への影響について理解する。 ●薬物乱用による健康および社会への影響について理解する。 ●代表的な精神疾患の特徴や症状について理解する。 ●精神疾患の予防や早期発見、治療や支援など適切な対応について理解する。 ・授業評価を実施する。 2学期期末考査の復習
12 1 2 3	安全な社会生活	①事故の現状と発生要因 ②交通事故防止の取り組み ③安全な社会の形成 ④応急手当の意義と救急医療体制 ⑤心肺蘇生法 ⑥日常的な応急手当 ☆ノートまとめ ※3学期期末考査 ☆3学期期末考査の復習	●様々な場面で起こる事故とその被害の実態について理解する。 ●交通事故防止には個人の取り組みと交通環境の整備が必要であることを理解する。 ●安全な社会を作るために必要な個人の取り組みを理解する。 ●応急手当の意義と、その手順や方法を身につける必要性について理解する。 ●心肺蘇生法の意義や方法、手順について理解する。 ●日常生活で起こるけがの基本的な応急手当の方法を理解し、できるようにする。 ・授業評価を実施する。 ☆3学期期末考査の復習

4　課題、提出物

・学習プリントの課題　　・新高等保健体育ノートの各考査時の提出

5　評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代社会と健康について理解を深めること。 安全な社会生活について理解を深めるとともに，応急手当を適切にすること。	現代社会と健康について，課題を発見し，健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに，それらを表現すること。 安全な社会生活について，安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え，それらを表現すること.	現代社会と健康について，自他や社会の課題を発見し，その解決を目指した活動を通して，身に付けることができる。 安全な社会生活について，自他や社会の課題を発見し，その解決を目指した活動を通して，身に付けることができる。

岐阜工業高等学校（定時制課程）

令和７年度シラバス　　（　英語コミュニケーションⅠ　）

教　科	外国語(英語)	単位数	２	学科・学年・組	工業技術科・１年・A、B組
使用教科書	COMET English Communication Ⅰ　（数研出版）				
副 教 材 等	英単語 VALUE 1000　（数研出版）				

1　学習の到達目標

・英語の基本的な文法、単語、表現を、反復確認を通して覚える。
・本文の内容を読み，概要や要点を把握することができる。
・本文の内容について，学習した語彙や言語材料（文法事項）を用いて，自分の意見を話す/書くことができる。

2　科目の特色

・基礎基本から英語を学ぶことによって、語彙力や文法力を身に付け、核となる情報を読み取る力とコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成する。

3　学習の計画

	学 習 内 容	主な学習活動
一学期	○基本の確認 ○Lesson 1 What Did You Do in Japan? ・過去形	・ハンドアウト（プリント）を使って、中学校で既習の文法事項を再度確認する。 ・教科書に沿って文法、会話、単語を覚える。 ・海外からの旅行者が日本での経験を旅行サイトの掲示板に投稿した内容について考察する。 ・英単語力強化プログラム（単語テスト）
二学期	○Lesson 2 When Do You Feel Happy? ・進行形 ○Lesson 3 *Onigiri* Goes Overseas ・助動詞 ○Lesson 4 Pictograms ・不定詞（名詞用法・形容詞用法・副詞用法[目的]）	・教科書に沿って文法、会話、単語を覚える。 ・ダイキがクラスメートに自分が熱中しているダンスについて話す内容について考察する。 ・日本のおにぎりの海外での人気について，ハルカが学校新聞に記事を書いた内容について考察する。 ・東京五輪をきっかけに世界でも一般的になったピクトグラムについて，リョウタがスピーチをした内容について考察する。 ・英単語力強化プログラム（単語テスト）
三学期	○Lesson 5 Morita Yuko Hospital Facility Dog Handler ・動名詞（主語・補語・目的語として） ○まとめ	・教科書に沿って文法、会話、単語を覚える。 ・病院で子どもたちを癒すファシリティドッグの日本初のハンドラー，森田さんへのインタビューの内容について考察する。 ・英単語力強化プログラム（単語テスト）

4　課題、提出物等

・授業に積極的な姿勢で参加する。
・ハンドアウト（プリント）を活用して、語彙力や文法力を高める。
・ハンドアウト（プリント）にきちんと取り組み、整理して定期考査ごとに提出する。
・パフォーマンステストの準備にしっかり取り組み、実施し合格を目指す。
・英単語力強化プログラムに積極的に取り組み、単語テスト合格を目指す。

5　評価の観点

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. 文法事項を理解している。 2. 文法事項の用法に関する理解をもとに，書かれた文章を読み取る能力を身につけている。 3. 学習した語彙や言語材料,TOOL BOXの語句を用いて伝えたり，相手からの質問に答える技能を身につけている。	1. 本文の内容を読み取り，概要や要点を把握している。 2. 本文の内容に関連して，学習した語彙や言語材料，TOOL BOXの語句を用いて，自分の意見を話したり／書いたりしている。	1. 本文の内容を読み取り,概要や要点を把握しようとしている。 2. 本文の内容に関連して,学習した語彙や言語材料，TOOL BOXの語句を用いて,自分の意見を話したり／書いたりしようとしている。

令和７年度シラバス　　（工業技術基礎）

教　科	工　業	単位数	4	学科・学年	工業技術科　　１年A・B組
使用教科書	工業技術基礎（実教出版）				
副教材等	プリント				

1　学習の到達目標

・ 工業の幅広い基礎的技術の習得を目指します。
・ 工業の実習科目で必要な基本的振る舞いについて学習します。（安全等について）

2　科目の特色

・ ６～７名のグループを作り、４つのテーマについて学びます。
・ 少人数で各グループに専門知識をもった教員を配置しています。

3　学習の計画

	学　習　内　容	主な学習活動
	１年を通して４つのテーマについて学習をします。 グループでローテーションをしながらの内容になるので、グループによって受ける時期が異なります。	
	１．手仕上げ	・ベンチバイスの製作を通して、工作物の仕上げ行程を学びます。 ・ヤスリがけやドリルでの穴あけ等必要な工具の使用方法について学びます。
	２．ガス溶接	・鉄をガスバーナーで溶かし接合する事を学びます。 ・工業用ガスの取扱法を学びます。
	３．基礎製図と精密測定	・製図法の基本を学びます。 ・数字、アルファベット、ひらがな、カタカナの文字についての練習。 ・線の引き方について学びます。 ・ノギス、マイクロメータの基本を学びます。 ・技能検定3級レベルの測定物を測定できる技術を学びます。 ・各測定器の原理やその使用方法について学びます。
	４．パソコン	・デスクトップパソコンの使用方法を学びます。 ・ワード・エクセル・パワーポイントなどのアプリケーションソフトの使い方を通じて、パソコンの操作方法の基礎を学びます。

4　課題、提出物等

パートごとに課題作品を完成まで製作します。また、毎時間の授業内容を報告書に記載し、提出をします。

5　評価の観点

知識・技術　a	思考・判断・表現　b	主体的に学習に取り組む態度　c
工業の各分野に関する基礎的・基本的な知識・技術を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。さらに環境に配慮した、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	工業技術に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	工業技術に関する諸課題について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。

令和７年度シラバス　　**工業情報数理**

教　科	工業 （工業情報数理）	単位数	２	学科・学年・組	工業技術科　１　年　Ａ、Ｂ　組
使用教科書	工業情報数理　（実教出版）				
副 教 材 等	電卓fx-JP500CW及び付属のテキストと問題集				

１　学習の到達目標

・　情報に関する基礎的な知識と技術が習得でき、実際に活用する事が出来るようになります。
・　計算技術検定試験や、情報技術検定試験に挑戦し資格取得を目指します。

２　科目の特色

・情報の活用ができる基礎的・基本的な知識や技能を身に付ける事ができます。

３　学習の計画

	学 習 内 容	主な学習活動
一学期	情報のモラルと管理 パーソナルコンピュータの基本操作 ソフトウェアの利用 オペレーティングシステムの基礎 アプリケーションソフトウェアの活用	・コンピュータのウィルス感染や不正使用等の情報化の影の部分を考察し、情報社会の安全性や情報倫理について理解する。 ・コンピュータの正しい操作や取扱いができる。 ・各種ソフトウェアの役割と特徴を理解し、活用方法を理解する。 ・ＯＳを構成するプログラム、環境を理解する。 ・処理内容によるソフトウェア選択、ソフトウェアの著作権の意義を理解する。 ・プログラム言語の概要、特徴、処理過程を理解する。
二学期	流れ図とアルゴリズム BASIC の理解 プログラムとデータの取扱い 数値の表現と取扱い データの表し方 論理回路の基礎	・BASIC の特徴と基本記述形式を理解する。 ・基本的な関数の働きを理解し、その活用ができる。 ・ファイル形式、管理を理解する。 ・コンピュータの中での情報表現の特徴を理解する。 ・２進数、１６進数、８進数の変換と２進数の演算（加減乗除）の基礎を理解する。 ・基本的な論理回路（ＡＮＤ、ＯＲ、ＮＯＴ回路）の働きを理解し、真理値表、論理式で表現する知識を身に付ける。
三学期	ネットワークの基礎 コンピュータ制御の基礎 数理処理 ◆コミュニケーションと情報デザイン	・コンピュータの基本構成と動作を理解する。 ・ＬＡＮの基礎知識を身に付け、その効果的な活用ができる。 ・インターネットを用いた情報の収集・検索が効率よくできる。 ・電子メールの受信・送信の方法やファイルの送付ができる。 ・情報の発信方法の基礎知識とマナーを身に付ける。 ・インターフェースやセンサなどの基礎知識を身に付ける。 ・国際単位系(SI)を理解し、使用できるようにする。 ・情報のデジタル化やコミュニケーションとメディアの関係を理解する。 ・情報の構造と関係性を適切に表現したデザインについて作成、評価、改善ができる。

４　課題、提出物等

・　各学習内容における課題等の提出があります。
・　授業ノートを学習の区切りに提出します。

５　評価の観点

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・２進数などから１０進数から他の進数に変換することができる ・流れ図とアルゴリズムを理解し、書くことができる。情報機器や情報ネットワークなど活用できる ・コンピュータの基本操作の技術力がある などを評価する。	・情報社会の権利や倫理について表現ができる。 ・アルゴリズムからプログラムが表現できる。 ・情報テラシーが思考できる。 などができる。	・これから学ぶ専門科目や実習等で情報活用ができ基礎的・基本的な力や技能を確実に身につけることができる。 ・工業情報数理の授業態度・参加意識等や提出物など学習に対する状況 などを総合的に判断する。